

団体名： NPOぷらっときすみの

代表者： 理事長 浅田光好

所在地： 兵庫県小野市下来住町

〔ポイント〕

平成10年9月に設立されたきすみの地区営農組合の事業部を前身とし、小学校の農作業体験活動の支援等を行っていた中、参加した子ども達より「地元のおじちゃん達で作るおそばをもっと食べたい」との提案を受け、「きすみの地区営農組合加工グループ」として、そば打ち体験の実施のほか、地域産品を用いた特産品の開発を加速させる。

平成16年12月、JR加古川線の小野町駅の改修にあわせ、食堂・菓子製造施設等を併設したコミュニティ施設「ぷらっときすみの」を市が建設したのに合わせて無人駅だったJR小野町駅で、代表品であるそばと巻き寿司を販売。一大地産地消スポットとなった。

また、高齢者への弁当宅配サービスの実施など利益を地域へ還元することで、より一層地域密着型の活動を展開するため、平成18年7月、「特定非営利活動法人ぷらっときすみの」を設立し、10月に県の認証を得て法人登記が完了。

【活動の内容】

1. 活動の理念は「地産地消の促進を通して食の安全と食文化を伝承するしくみづくり事業」であり、地域内の農産物の積極活用とその加工品の提供販売による地域活性化と郷土料理の伝承に取り組む。

環境保全面では、ビオトープ水路を設けたほ場で生産された、環境保全型農業を実践し栽培履歴の判明している農産物を、営農組合との契約栽培契約を結んで積極的に活用。

2. 県、市との関係は、立ち上げ時から例会に加わって活動の方法について審議を行ってきており、小野市の地域ブランド「小野うまいもんブランド」の最多認証団体となるほか、兵庫県・兵庫県生活研究グループ連絡協議会の平成17年度「ひょうご農とくらしの研究コンクール」の努力賞を受賞、市内の農産加工グループを代表する組織となった。

3. 地元にも古くから伝わる味付けによる巻き寿司やそば菓子加工品は、市内の農産物直売所やスーパー、温泉施設などで販売され、市内を代表する地場産料理・地場産品として通用するようになっている。

【活動の成果】

1. メンバーは男性7名と女性15名と、農産加工グループとしては珍しく男性の構成員が多い団体となっている。男女がバランスよく役割分担をし、浅田理事長がリーダーシップを発揮してまとめあげていることが、迅速な事業拡大に繋がったと考えられる。

2. 地域の農家で構成されていることから、地域内のイベントはもちろん、バス旅行の弁当、法要料理など、地域における仕出し需要も広く集め、支持されている。

この団体が活躍することで、駅の利用者も増え、観光客が多く訪れるようになり、きすみの地区の他の団体も活性化するなどの影響もみられている。

3. 今後は、特定非営利法人として、営農組合長を監事に据え、さらに活動目標とその成果に対して、さらに公益性や透明性がみられる運営に移行していく予定である。